

人工心肺中におけるフィブリノゲン血中濃度の迅速測定 -後ろ向き研究による中央採血結果と Fibcare の相関性- に関する情報公開

1. **研究の対象**： 2021年1月1日～2021年6月30日までの期間に、当院において人工心肺下心臓外科手術を受けた方

2. **研究目的・方法・研究期間**：心臓外科手術において、人工心肺離脱に向けて凝固因子を測定し凝固能を整える戦略を考える事は麻酔科医にとって重要な側面となります。中央採血結果の凝固検査は40 - 60分程度の時間を要するため、迅速性がありません。ATOM社 Fibcare は産科領域で利用されているベッドサイドでフィブリノゲン濃度を測定可能な機器です。これをヘパリン化された心臓外科手術中に適応して中央採血とのフィブリノゲン濃度検査値の相関性を検討した研究は無く、これを検討する事で、心臓外科手術中にも利用可能か事を検証し、中央採血より迅速なフィブリノゲン濃度判断が可能であり、低値であるならば一足早い輸血判断の補助に利用可能となります。このため、本経験を研究報告とする事は、今後の麻酔学発展に寄与します。研究期間は、実施承認日～2022年12月31日です。

3. **研究に用いる試料・情報の種類**：年齢、身長、体重、術前・術中凝固機能検査値(中央検査結果)、術中 Fibcare 測定値(手術室内フィブリノゲン値迅速検査)、術後 SICU での凝固機能検査値、輸血量、輸血時期、出血量、ドレーン廃液量、TEG6s(血液粘弾性検査、輸血必要量の測定機器)の結果項目

4. **お問い合わせ先**：本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。御希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者： 名古屋大学医学部附属病院 麻酔科 田村 高廣

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話：0527412111